

令和6年(2024年)2月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書(3日目)

令和6年2月21日(水)

※1人当たり15分間(答弁を除く)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	花城典史 (自民党・みんなの協働!)  質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 まちづくり 行政について  2 経済観光行 政について	市民との協働による地区のまちづくり推進事業について、事業概要及び今後の取組予定を伺う  (1) 第5次総合計画において、中心市街地へ行く市民の割合を増やすことが目標として掲げられている。この目標を達成するための取組としての来街者調査について伺う  (2) 観光DXについて、施政方針で「本市に滞在・訪問する観光客などのデータ収集やニーズ分析を行い、観光客の滞在促進・消費額増加につながる観光コンテンツの創出支援に取り組む」としているが、現状と今後の予定を伺う  (3) 中心市街地活性化の起爆剤ともいえる第一牧志公設市場開設からまもなく1年を迎える。当施設の稼働状況を伺う  (4) 小中学生キャリア教育事業について伺う。我が会派の代表質問で吉嶺努議員が提案した、那覇空港事務所主催の「空の日イベント」について、本市が那覇空港や関連事業者との交流を促進し、那覇の子どもたちに航空産業に身近に接してもらうことは、キャリア教育という観点からも、空港を抱える自治体の大変大きなアドバンテージである。「空の日イベント」について、本市の見解を伺う

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 学校周辺の環境整備について</p> <p>4 学校教育行政について</p> <p>5 本市の組織体制と職員数について</p>	<p>金城小・中学校敷地の周囲には、歩道及び遊歩道があり「樹木や植栽、雑草等が繁茂しすぎる時期がある」との声がある。景観上、通学環境上も常に適切な管理が望まれている。例えば、今月、私が確認した範囲においても、ともかぜ振興会館敷地内の雑草が目線の高さ近くまで生い茂り、早急に対応すべきである。関係課（総務部平和交流・男女参画課、都市みらい部道路管理課、生涯学習部施設課等）において十分な予算を措置し、学校周辺の環境整備・管理を常に行うべきである。本市の見解を伺う</p> <p>(1) 教員負担軽減タスクフォースアンケート結果を受けて、中央教育審議会の3分類の考え方も含めて、改めて課題の整理状況と対応状況、今後の取組予定につき伺う</p> <p>(2) 学校施設を放課後の児童の居場所として活用することについて、令和5年12月25日付、国通知「放課後児童対策パッケージ」で、学童等の一時利用いわゆるタイムシェアの促進及び各種支援策が示された。先日の我が会派の代表質問で、こどもみらい部からその有効性に言及する答弁があったが、これまでの経緯を踏まえ、改めて本市教育委員会の見解と現状を伺う</p> <p>32万市民の暮らしを守る本市行政について、そのサービスレベルを質的にも量的にも担保する職員数の確保が必要である。そこで、令和5年度の職員数（正規職員・会計年度職員別に）と、10年前との比較について伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 令和6年2月21日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	普久原 朝日 (立憲なは)  質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 防災行政について  2 こども行政について  3 文化芸術について  4 交通行政について  5 若者行政について	防災行政無線更新事業について、どのように進めるのか伺う  放課後児童クラブ(学童保育)の取組について  次年度における取組について  (1) 地域公共交通計画策定の取組について  (2) 福祉バス運行事業について  若者の居場所づくり「ユースカウンスル」「ユースセンター」「ユースワーク」に関する取組について
			<b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（3日目） 令和6年2月21日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>多和田 栄子 (ニライ)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 高齢者外出支援について</p> <p>2 日本版DBSについて (子どもたちを性暴力から守るための制度創設)</p> <p>3 那覇市のコミュニティスクール(学校運営協議会制度)の取組について</p> <p>4 那覇市伝統工芸館の販売所について</p> <p>5 福祉バスふくちゃん号について</p>	<p>高齢者が希望と生きがいをもって暮らす本市の取組について以下伺う 70歳以上の高齢者について、バス・タクシーチケット及びモノレールの割引利用状況について伺う</p> <p>子どもを性犯罪から守るための日本版DBSの創設に向けて、今年4月から子どもへの性暴力やわいせつ行為で国家資格を取り消された経験のある保育士について、一元管理するデータベースを導入するとある。また、子どもと接する職業に就く場合に、過去の性犯罪歴などを管理・照会する制度の創設をし、子どもが安心して教育や保育を受けることのできる社会をめざすとある この事に関して本市の認識と取組を伺う</p> <p>以下伺う</p> <p>(1) 現在の取組状況について</p> <p>(2) 学校運営協議会と地域学校協働活動の違いは何か</p> <p>(3) 地域学校協働のコーディネーター役は現在何名いるか</p> <p>現在、那覇市てんぶす館に入所している伝統工芸品、漆器、陶器、紅型、琉球ガラス、伝統な織物などの販売所が商品を撤去、移動するようになっている。事実か伺う</p> <p>市内を運行しているふくちゃん号無料バスの運行活用について、選挙啓発の一環として、期日前投票期間中に限り年齢限定せず利用できないか伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>6 首里石嶺町 4丁目の雨水調整池について</p>	<p>令和2年度から着手、本体工事が完成している、供用開始が令和6年度と聞いている。以下伺う</p> <p>(1) 外構工事の進捗状況について</p> <p>(2) 広場の活用について</p> <p>(3) トイレ設置について</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、選挙管理委員会委員長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 令和6年2月21日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>吉里 明 (公明党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 デジタル人材育成の取組について</p> <p>2 スタートアップについて</p> <p>3 多文化共生社会の推進について</p> <p>4 インクルーシブ教育の推進について</p>	<p>これまで何度も「女性デジタル人材育成」の取組を訴えてきた。次年度の新規事業となる商工農水課の「那覇市リスクリソグ推進支援事業」と、平和交流・男女参画課の「女性デジタル人材育成支援事業」の意義と概要、取り組むにあたっての意気込みを伺う</p> <p>(1) 静岡県浜松市のスタートアップの取組は先進的で、とりわけエコシステム形成推進のための「ファンドサポート事業」や「ベンチャー企業誘致パートナー制度」等は、本市も取り入れていくべきではないかと考える。浜松市の取組全般についての本市の受止めと、今後参考にできそうな取組について見解を伺う</p> <p>(2) 那覇市IT創造館については、地元銀行や事業者とも積極的な意見交換をしながら、民間の力を大いに活用する方向にシフトチェンジするべきである。IT創造館の課題を含めた今後の展開について見解を伺う</p> <p>沖縄市立山内小学校が、通学かばんについてはランドセル以外も認める旨、全校児童に正式文書で通知した。ランドセルに慣れていない外国籍の子どもを含め、全保護者にとっても経済的負担軽減や子どもたちの体への負担軽減にも繋がると考える。本市も取組むべきだと思いが現状と対応を伺う</p> <p>(1) 施政方針に「インクルーシブ教育」の文言が明記されたことを高く評価する。次年度のインクルーシブ教育推進の取組を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			(2) 昨年6月定例会にて、「作業療法を教育現場に導入する」ことを提案している。この取組は、教員一人が子どもたちの課題を抱え込むことなく、親の安心と子どもが自発的な学びに参加できる環境づくりに繋がると確信する。本市の調査研究状況と今後の取組について伺う
		5 放課後こども教室について	放課後こども教室の取組状況及び課題を含めた今後の取組について伺う
		6 交通安全対策について	昨年6月定例会で自転車用ヘルメットの着用推進を促すための購入費助成を提案した。その後の検討状況を伺う
		7 ドアTODアの移動支援について	乗り合いタクシーの運行状況を伺うとともに、これまでの取組を踏まえて、デジタル田園都市構想交付金事業などを活用して各タクシー事業者と連携しながら、新しい移動支援を創出できないか見解を伺う
		8 ごみ収集事業について	ごみ収集委託事業の現状と委託事業者等からの声、また今後の取組について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（3日目） 令和6年2月21日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	湧川 朝涉 (日本共産党)  質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 消防行政について  2 こども行政について  3 保健行政について  4 介護行政について  5 福祉行政について  6 漁業行政について  7 都市行政について	消防力の整備指針について、見解と取組を問う  保育士の離職防止・新規確保のためには、保育士の職場環境・待遇の改善が大切である。認可保育施設、認定こども園の正職員率の最低、最高、平均を問う  乳幼児健診について 乳幼児健診の受診率の向上を図るべきである。見解と取組を問う  第9次なは高齢者プランにおける、入所施設について、介護老人保健施設の増設が必要である。施設の概要と待機者は何人か、見解と取組を問う  老人福祉センター・老人憩の家の入浴事業について、概要を問う  (1) 泊漁港の放置艇対策について、概要と取組を問う  (2) 那覇空港南側船揚場整備事業、いわゆる大嶺漁港整備について、今後の取組とスケジュールを問う  (1) 私が、2022年9月定例会において、雑草の生育を抑制の参考にするよう提案した、防草シートの取組の概要について問う  (2) 那覇市宇栄原南土地区画整理事業の換地の進捗について問う



順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		8 交通行政について	<p>第5次那覇市総合計画の改定版において、新たな視点として、「持続可能な社会の実現(SDGs)」が加えられ補強された</p> <p>那覇市自転車ネットワーク計画のバージョンアップ、整備の推進が強く求められている。見解と取組を問う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 令和6年2月21日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	<p>金城直子 (自民党・みんなの協働!)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 子ども議会について</p> <p>2 保育行政について</p> <p>3 防災行政について</p> <p>4 那覇市キャラクターについて</p>	<p>子どもたちが市政や議会の意義やしくみを知る事で地方自治への関心を深め、市役所や議会の仕事が自身の暮らしに大切な働きをしていることを理解しながら経験を通し「働くこと」について考えるためにも本市において子ども議会の開催を提案するが見解を伺う</p> <p>以下伺う</p> <p>(1) 次年度における保育ICT導入について事業の計画を伺う</p> <p>(2) 子育て支援の観点から兄弟姉妹で認可保育施設に通う第2子(0～2歳児)の保育料無償化を提案するが見解を伺う</p> <p>(3) 待機児童ゼロの取組として「送迎保育ステーション」の導入について本市の見解を伺う</p> <p>台風や豪雨等の発生前から予測が可能な災害において、「いつ」、「誰が」、「何をするのか」をあらかじめ時系列にまとめた防災行動計画で、災害時に行政が取る標準的な防災行動を時系列的に整理し事前に想定して住民の命を守るタイムラインの導入が全国の自治体でも増えてきている。国土交通省が推奨する事前防災行動計画タイムラインの導入について本市の見解を伺う</p> <p>那覇市をイメージした本市公認のキャラクター作成を提案するが見解を伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（3日目） 令和6年2月21日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
7	金城 亮太 (公明党)  質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 保育行政について  2 文化芸術・ 芸能振興について  3 市民行政について  4 道路行政について  5 聴覚障がい 者雇用について	本市の認可園における園児父母の育休中の取扱いについて、過去の対応実績と現状を問う  令和4年2月定例会で提案した文化芸術の担い手の活動を支援する助成金制度について提案したが、その後の検討状況について問う  (1) 令和4年6月定例会で提案したオリジナル婚姻・出生届について取組状況を問う  (2) 証明交付申請書統一化の取組について見解を問う  (1) バス停上屋の整備状況と今後の取組について問う  (2) 令和5年11月定例会で街灯の管理番号と故障対応コールセンターの問い合わせ先が記載されたプレートの設置位置や向きについて改善を求めたが、その後の状況について問う  本市の会計年度任用職員を含む、聴覚に障がいを持つ職員の人数と課題について問う  <b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、関係部長

一般質問（3日目） 令和6年2月21日（水）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
8	<p>我如古 一郎 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 那覇市職員定数と実数及び非正規職員について</p> <p>2 地球温暖化対策について</p> <p>3 SDGsについて</p>	<p>(1) 2月15日の平良識子議員への市長答弁に関連して、会計年度任用職員への遡及の決定過程の在り方について見解を問う</p> <p>(2) 公務労働の定義と地方自治法第1条の2の自治体の責務を問う</p> <p>(3) 本市職員実数の20年前・10年前・5年前・今年度の定数の状況と会計年度任用職員数・割合を問う</p> <p>(1) ゼロカーボンシティ宣言における、沖縄電力との包括連携協定で小学校などに太陽光発電を設置するとあったが、温暖化防止の再生エネルギー発電の量としては、それでは不十分であることは明らかである。学校で使用する何割を賄えるのか伺う</p> <p>(2) 火力発電所が最大のCO<sub>2</sub>発生源である以上、2050年まで待たずに、火力発電所を廃止する決意をしているのかが問われている。日本は不名誉な「化石賞」を毎年貰っている国で、石炭火力発電への依存を厳しく批判されている。今回の宣言で、那覇市が石炭火力発電依存を減らし、CO<sub>2</sub>削減の責任を具体的にどう果たしていくのかが問われています。省エネと再生エネルギーの比率の目標をどのように高めるのか、見解を問う</p> <p>日本政府や財界は、SDGsを語りながら、不安定雇用やワーキングプアを増大させ、過労死や過労自殺も根絶できず、子どもの貧困、子育て支援、高等教育の無償化と奨学金問題、ジェンダー平等にも消極的であり、世界から批判されている石炭火力発電を続け、原発の再稼働、さらに、米軍基地由来のPFASなどによる水の汚染問題にも後ろ向きの態度である。これは「持続可能」ではない行動をとりながら、SDGsを自らの政策や行動を正当化するやり方だとして、ニセのSDGsだとの批判がある</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>4 年金制度について</p> <p>5 公共交通政策について</p> <p>6 学校での動物飼育について</p>	<p>このような日本の状況に対する見解と、本市の第5次総合計画の進捗状況について政策統括調整監の見解を問う</p> <p>(1) 沖縄県の高齢者の数と厚生年金平均年金額、国民年金老齢基礎年金のみの平均年金額を問う</p> <p>(2) マクロ経済スライドと賃金マイナススライドは、年金を引き下げるメカニズムである。物価は上がっているのに、なぜ年金は下がるのか、説明を求める</p> <p>政府は、ライドシェアの導入がタクシー不足を補うとして、解禁に前のめりであるが、本市の状況を問う</p> <p>子どもと動物との関係は、親しみの気持ちやなごみの心が育ち、溶け合うような触れ合い方が生まれるものである。しかし、今日の生活環境からは、自然体で触れ合うことのできる場が失われつつある。改めて、学校で生き物を飼うということについての意味や意義について、見解を問う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>